

青島バレー 有終の美

児童数・生徒数の減少により、青友クラブは6年前に、青島中学女子バレーボール部は2年前に廃部。そして今年、男子バレーボール部の廃部が決まり、今季の大会が青島中バレーボール部最後の大会出場となり、青島バレー50年の歴史に幕を下ろしました。

青島らしい試合で

青島バレーに幕

3月に開催された田口杯と、4月に開催された北松浦郡中学校バレーボール選手権大会では見事優勝。5月27日に開催された市中総体では、フルセットの末惜しくも準優勝とな

りました。

そして最後の試合は、伊万里市で開催された伊万里市近郊中学生バレーボール大会。島民約30人が伊万里市の国見台体育館を訪れ、多くの声援を受けながら戦い、結果3位になりました。優勝はできませんでしたが、3カ月ほどしか練習していな

い1年生も含めたメンバーで、互いに声を掛け合いながら力いっぱいプレー。島民のたくさんの声援に包まれ、青島みんなが一体となった青島バレーの最後にふさわしい試合となりました。ここでは、最後のバレーボール部のメンバーなどの話を聞きました。



最後のバレー部員



後列左から

濱川祥生君 (3年)、寶田亮太君 (3年)、浜中航君 (3年)、
崎村康平君 (3年)、松永慎也先生

前列左から

黒田真紀先生、羽戸辰彰君 (1年)、濱川雅也君 (2年)、
村辺成生君 (1年)



▲最後の大会出場。応援にも熱が入ります。



中学男子バレーボール部顧問

黒田 真紀 先生

3年3カ月指導をさせていただきました。純粋な青島中バレーボール部の指導ができて幸せでした。

これからも、ひたむきさや純粋さを大切に頑張してほしいです。



最後の試合を終え、たくさんの応援団に涙ながらにあいさつ。



今後も バレーボールと 関わっていきたい

地域指導者

ゆうき
森 裕樹 さん (星鹿・青島、20歳)

中学生のころからバレーボールを始め、高校卒業後も行けるときは毎日体育館に顔を出し、中学生の指導をしてきました。

これまでの生活で、ほぼ毎日バレーボールをしていたので、体にバレーボールが染み付いています。

これからは、体育館に行ってもバレーボールの練習をしていないのかと思うととても寂しいですが、可能な限り地域や一般のバレーボールなどに参加するなどして、バレーボールと関わっていきたいです。



キャプテン
よしたか
濱川 祥生 君 (青島中3年)

最後の試合まで、たくさんの青島の人や先生が応援してくれて、心強かったです。

青島の伝統のバレーボール部がなくなることはとても寂しいことですが、最後の部員になれたことはうれしく思います。バレーボール部で、礼儀やあいさつ、言葉使い、集団行動の大切さなど、たくさん学ぶことができました。

なお
村辺 成生 君 (青島中1年)

田口杯や選手権大会で優勝できたことはとてもうれしかったです。最後の試合は負けてしまったけど、悔いの残らないプレーができました。

3カ月間しかバレーボールをすることができませんでしたが、楽しんでできました。

バレーボール部で学んだことを生かして、これからは卓球部として頑張ります！



青島のみんなが愛した「青島バレー」。

それは、単にスポーツとしてのバレーボールをしていただけではなく、島民の強さを磨き、島民みんなが触れ合い、心をつなぐ大切な存在だった。

青島のバレーボール部はなくなりました。

しかし、この50年の間に青島バレーを通して培った、島民みんなの純粹さやひたむきさ、ただひたすらボールを追いかける澄んだまなざしは変わることはないでしょう。

